



## 4月 新たな出航の時

校長 小川 秀人

4月7日に行われた入学式の式辞で、ジャーナリスト故むのたけじ氏の次の言葉を紹介しました。

十代の後半、それは人生において最初の、そしておそらく最も深い「分水嶺」である。そこで何を学んだか 学ばなかったか、何を体験したか しなかったか、それは人生が先に進むにつれて身にしみるだろう。

日本の社会はいま、大きな変化の時代を迎えています。基礎・基本的な学力ばかりでなく、変化に柔軟に対応し、チームで課題を解決する力やコミュニケーション能力、プレゼン力など、新しい型の学力を身につけていかなければ、これからの時代をタフに生き抜いていくことは難しいのです。

寒河江高校は、「遠大な開拓者精神と潑刺とした自由の精神を基盤に、質実剛健と気品清純の気風を継承発展させる」ことを教育の目標に据えてきました。わが校は元来、伝統校であることに安住し、変化をおそれるような生徒を育ててはきませんでした。わが校のスローガン『革新する学びと力 寒高』は、変化の荒波の中に漕ぎだそうとする「チーム寒高」の力強い宣言でもあります。本校生一人ひとりがこのチームの大切な一員です。「覚悟」を決めて新学期に臨んでいきましょう。

今年度より、月1回発行予定の学校便り『分水嶺』で「チーム寒高」の日頃の学校諸活動を紹介します。発行後は学校のホームページにもアップしますので、お父さんお母さんにも伝えてください。

### 【新任者13名を迎えました】

校 長	小川 秀人	(山形市立商業高校 校長から)
教 頭	地主 好	(高校教育課主任指導主事から 寒高34回卒)
理 科	道上 琢磨	(3学年副担/ハンドボール部/米沢工高から 寒高52回卒)
理 科	大竹 翠子	(1年2組担任/美術部・科学同好会/谷地高校から)
英 語	熊谷 理子	(1学年副担/本県新採/静岡県立浜松南高教諭から)
数 学	佐藤 剛	(2年1組担任/バスケ部/寒河江工高から 寒高50回卒)
国 語	山路 大輝	(常勤講師:2学年副担/新聞部・カヌー部/長野鉢盛中から)
歴 公	新家 孝麿	(常勤講師:進路専任/剣道部/天童高から)
数 学	白石 頼人	(常勤講師:進路専任/バトミントン部/新庄北高から)
音 楽	富樫 瞭介	(育休代常勤講師:総務専任/吹奏楽部)
理 科	和田 英一	(非常勤講師/霞城学園高非常勤講師兼任)

---

事務部長	安食 美好	(事務部/県森林研究研修センターから 寒高30回卒)
学校技能員	服部 裕一	(事務部/朝日少年自然の家から 寒高48回卒)

# 山大医学部・医学科に合格者 平成28年度末進路結果

## 地元・山大的合格者増 公務員 11名合格

卒業年 (卒業生人数)	国公立大合格 (対在籍%)	山形大学	私立大 学	短大 大学校	専門学校 (医療系)	就職	他
H29.3 (193)	65(34%) 進学 57	33 進学 33	78	9	23 (15)	12	14
H28.3 (196)	68(35%) 進学 67	28 進学 27	83	16	11 (4)	5	14
H27.3 (196)	74 (38%)	38	70	12	26 (11)	4	10
H26.3 (192)	79(41%) 進学 75	33	80	8	21(13)	2	6

### ★国公立大合格者 (65名)

→県内(38)〔山形大(33)〈人社③、地教⑨、医医①、医看③、理②、工⑫、農③〉〕

〔山形保健医療(4)、米沢栄養〕

→他地区(27)国立〔秋田、福島(4)、新潟(4)、群馬、千葉、北海道教育(2)、北見工(2)、静岡〕

公立〔宮城、都留文、秋田県立(2)、青森保医療、釧路公立(3)、群馬県立女子、前橋工科、静岡県立〕

★私大進学(78名) ……………山形県(8)、宮城県(36)、首都圏その他(34)

★短大・大学校進学(15名) ……米短(7)、文教、羽陽、県産技短(4)、農林大学校(2)

★就職(12名) ……………寒河江市(2)、天童市、大江町、西村山広域消防(2)、山形市消防、

※公務員 11名 山形県警(2)山形県警察行政、県立学校事務、民間

今春の卒業生の進路結果が、上記のようにまとまった。国公立大学の合格者数が65名、在籍比34% (前年比-1%)、とほぼ昨年並みとはなったが、進学せずより高いレベルの大学を目指す者も例年より多くなった。地元山形大学への進学者数が昨年より6名増え33名となったのは朗報、中でも医学部・医学科に合格者が出たのは快挙であった。今年度は医療系の専門学校に進学する生徒や、公務員を目指す生徒が増えたのが大きな特徴であり、進路希望の多様化が一層進展する傾向が見られた。

## 県競技力向上強化指定にカヌー一部ほか1名

今年度地元南東北で行われるインターハイに向けて、山形県高体連から県内高校の有力な運動部及び個人に対する強化指定が行われ、本校でも団体でカヌー一部と、個人でテニス部の矢野 桜子さん(2年)が選出され、過日指定証の交付を受けた。6月に行われる県高校総体も、激戦が予想されるが、ぜひ全国の舞台にコマを進め、地元インターハイに花を添えてもらいたい。

## 全国高総文祭(宮城大会)に放送部・新聞部出場決定!

今年の夏、宮城県で行われる全国高等学校総合文化祭の『放送部門』で、本校放送部から「アナウンス部門」「朗読部門」「オーディオピクチャー部門」の三種目に合計4名の参加が決定した。練習を重ねて“寒河江高校に放送部あり”というところを全国に示してもらいたいと思う。同じく新聞部も『新聞部門』に都道府県派遣枠で選出され、2名の大会出場が決定した。日頃からしっかりした活動を重ねてきた成果であり、心から祝福したい。